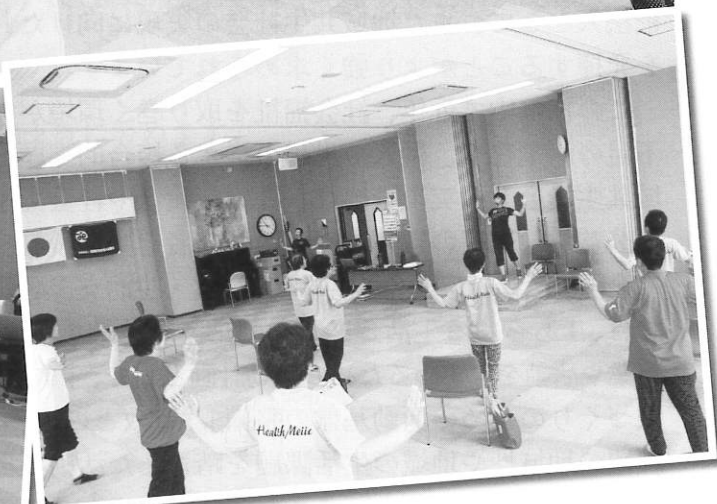


やないづまち

社会福祉協議会だより

発行 令和2年9月 社会福祉法人柳津町社会福祉協議会 ☎ (0241) 42-3418



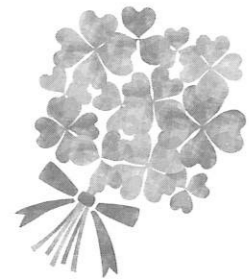
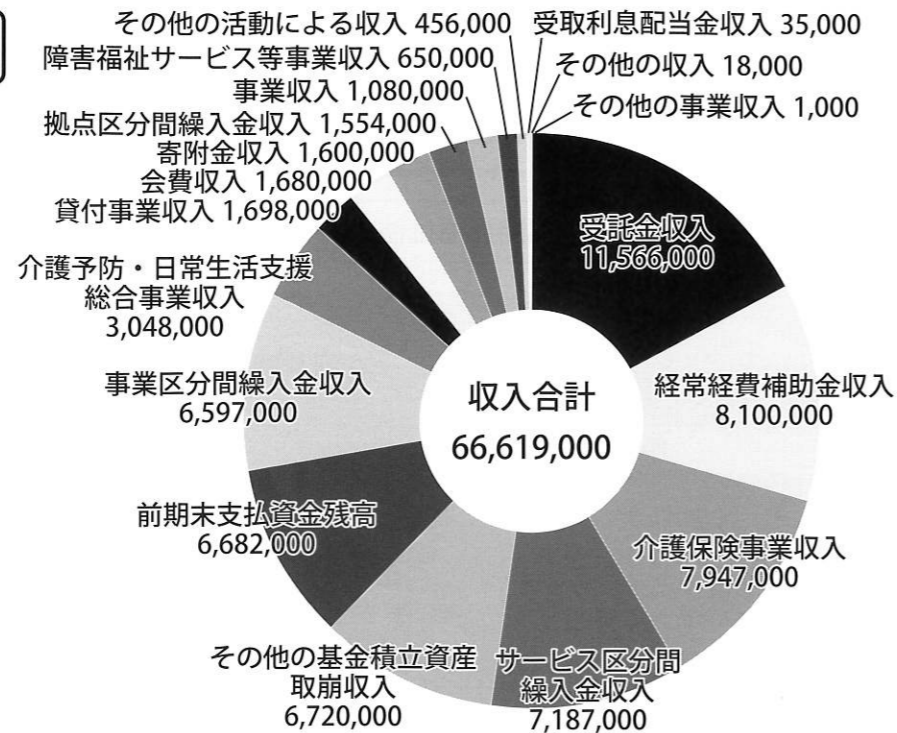
新型コロナウイルス感染症の影響で、2月より活動を自粛してきましたが、7月下旬に新しい生活様式に対応し、「ヘルスメイク体操」が再開しました。会員の皆様は、今まで活動出来なかった分、笑いあふれ元気に活動しております。

柳津社協では、地域での集いの場等において、人と人の関わりを大切に、笑顔あふれる町づくりにしたいと考えています。

令和2年度 柳津町社会福祉協議会事業計画

【令和2年度「主な事業内容と予算」】

資金収入の部



【基本方針】

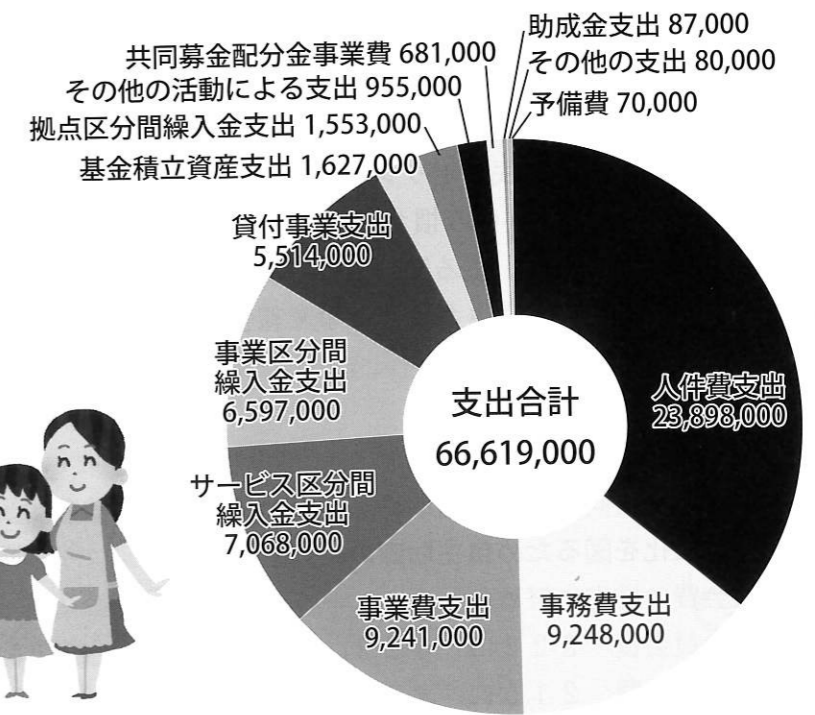
社会福祉協議会は、社会福祉法において「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」として規定され、社会福祉法人としての公益性をもち、より多くの地域住民の皆様の主体的参加を求めながらさまざまな事業・活動に取り組んできたところですが、今日地域社会に貢献する社会福祉法人として、また地域共生社会の実現に向けた共同の中核を担う組織として、その役割と機能を発揮することがより強く求められています。

この様な中で近年、社会福祉を取り巻く環境が大きく変化してきています。福祉・介護人材の不足の深刻化や、個人や世帯の抱える複合的課題への対応が一層求められ、厚生労働省では「地域共生社会」の実現を掲げ、介護保険法や社会福祉法の改正により、社会福祉法人の地域における公益的な取組の責務化、生活困窮者自立支援制度の強化等が進められています。

全国社会福祉協議会が定めた「社協・生活支援活動強化方針(行動宣言と第二次アクションプラン)」では、「あらゆる生活課題への対応」と「地域のつながりの再構築」に向けた社会福祉協議会の事業や活動をすすめるための行動計画として、「アウトリーチの徹底」「相談・支援体制の強化」「地域づくりのための活動基盤の整備」「行政とのパートナーシップ」を示しております。さらには、社協の地域性や地域の生活課題を踏まえた活動の現状とともに地域づくりのための施策の展開など、社協本来の役割を踏まえた取り組みのさらなる推進を図ることを目視しています。

社会福祉協議会がこれまで進めてきた地域福祉が本格的に施策として展開されようとしている今、福祉改革の基本概念として「地域共生社会の実現」を位置づけ、住民に身近な圏域で住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制づくりを支援し、社会福祉協議会が目指す『誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続ける、全員参加のまちづくり』の実現を目指し、時代の変革に合わせた新しい「地域の支え合いの体制づくり」を、厳しい環境におかれていることを十分理解し、「自助・互助・協働・共助・公助」を意識し地域住民・関係機関団体との連携を図りながら、本町の社会福祉の向上を推進し、だれもがその人らしく、安心して暮らせる福祉社会を目指します。

資金支出の部



【実施事業】

1. 社会福祉協議会の体制強化
 - (1) 長期的視点に立った組織経営の確立と、業務執行力の強化推進に努めます。
2. 財政基盤・自主財源の確立強化
 - (1) 社協活動推進のための中長期的な財政基盤の安定化について検討を進めるとともに、補助・委託事業等について適切な経費を確保するための要望活動を積極的に実施し理解と参加意識を図り財政基盤の強化に努めます。
3. 地域福祉活動の推進
 - (1) 事業推進を図るため行政機関・福祉協力員（区長）、民生委員・児童委員、福祉団体等との協力体制強化に努めます。
 - (2) 相談事業の体制強化に努めます。
 - (3) 生活困窮者世帯等要支援者の経済的・自立支援に努めます。
 - (4) 柳津町健康福祉プラザ銀山荘の適切な管理運営（指定管理業務の受託）に努めます。
 - (5) すぱーく柳津（屋内ゲートボール場）管理運営に努めます。
 - (6) 「自分の町を良くするしくみ」である共同募金運動の推進に努めます。
 - (7) 赤十字事業の推進に努めます。
 - (8) 車いすの貸出し
 - (9) ボランティアセンター事業の推進
 - (10) 民生児童委員協議会との連携強化に努めます。
4. 介護保険事業の推進
 - (1) 訪問介護訪問入浴介護事業の安定した経営に努めます。
5. 障害福祉事業の推進
 - (1) 障がい福祉サービス事業経営に努めます。
 - (2) 車いすの貸出し
6. 広報・啓発活動の強化
 - (1) 定期的な広報活動による福祉事業の情報発信に努めます。
7. その他本会の目的達成のために必要な事業の推進に努めます。

令和元年度 社会福祉法人柳津町社会福祉協議会事業実績報告書

(自平成31年4月1日 至令和2年3月31日)

本会の目指す、地域の住民やボランティア、福祉・保健等の関係機関の協力を得て、住民の福祉ニーズに対応し、「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続ける全員参加の町づくり」の一助を担う様努めてきました。去る5月28日監査に付し、6月10日の理事会において承認され、同月25日の評議員会において議決されました事業報告の概要と収支決算についてご報告させていただきます。

1, 社会福祉協議会の体制強化

理事会・・・3回 議員会・・・2回 監事会・・・1回 柳津町定期監査
職員等の資質向上及び資格取得等研修会等に積極的に参加

2, 社協体制強化を図るため自主財源の確立強化

(1) 会員会費の拡充に努めました

- ①個人会員会費 822口 822,000円 (1口・1,000円)
 - ②特別会員会費 215口 430,000円 (1口・2,000円)
 - ③賛助会員会費 42口 420,000円 (1口・10,000円)
- 合計 1,079口 1,672,000円

(2) 柳津町共同募金委員会の共同募金運動を推進

- ①赤い羽根共同募金運動の実績 (10月) 596,567円
- ②歳末たすけあい募金運動の実績 (12月) 623,700円

3, 地域福祉事業の推進

(1) 県共同募金会からの配分を受け、児童遊び場遊具の点検・整備

[遊具の整備地区]・・・8地区 総額411,000円

- ①出倉・中野・大野・柳ヶ丘・猪鼻・五畳敷・黒沢・琵琶首、塗装工事

(2) 地域福祉講演会を開催

- ①講師 モンゴル体育大学特任教授 菊池彰人先生
- ②内容 健康(健幸)と地域(まち)づくり「脳と運動・音楽と脳・楽しいメカニズム」
- ③参加人員34名

(3) 認知症サポーター養成講座

(4) 地域集いの場事業助成 2地区 38,000円

- ①大野・黒沢地区

(5) 歳末たすけあい募金の配分事業を実施

- ①おせち材料配付世帯(75歳以上の一人暮らし・高齢者世帯・その他)
187世帯 588,136円

(6) 一人暮らし老人世帯に対し防犯防火点検を実施

(7) 福祉団体等の育成及び活動費の助成等を実施

- ①柳津町赤十字奉仕団
- ②柳津町更生保護女性の会

(8) ボランティアセンター事業推進

- ①ボランティア推進会議・健幸クラブボランティア研修・ボランティア保険加入促進
- ②福島県・市町村社会福祉協議会における災害時相互支援に関する協定に基づき
令和元年度台風19号による災害ボランティアセンター支援職員派遣

派遣先いわき市社会福祉協議会 期間 令和2年11月2日～5日 4日間

内容いわき市災害ボランティアセンター運営支援

(9) 「心配ごと相談所」の運営

- ①電話・来所相談
- ②弁護士相談回数

(10) 生活援助資金貸付事業

- ①令和元年度貸付・償還
- (11) 福島県社会福祉協議会生活福祉資金(緊急小口資金貸付等)
- (12) 高額療養費貸付事業
- (13) 除雪費の助成
- (14) あんしんサポート事業による自立支援事業
- (15) 生活困窮者自立支援事業
- (16) 柳津町民生児童委員協議会の運営

4, 柳津町健康福祉プラザ银山荘指定管理業務

5, すばーく柳津を管理運営

6, 日本赤十字社福島県支部柳津町分区事業

- ①日本赤十字社資増強運動の実績(5月) 555,500円

7, 在宅福祉活動の推進

(1) 介護保険事業の経営

- ①訪問介護事業経営
- ②訪問入浴介護事業経営

(2) 居宅介護等事業経営

- ①障がい福祉サービス事業経営

(3) 関係機関連絡調整会議参加及び介護職員会議を開催

(4) 介護手当を給付

(5) 車いすの貸出

8, 地域介護予防活動支援事業の受託運営 ※「健幸クラブ」事業

- ①本庁地区: 22回(月2回) 45名 参加者延人数: 599名
 - ②支所地区: 22回(月2回) 21名 参加者延人数: 351名
- 合計延参加人数 950名 ボランティア(本庁・支所): 18名 延活動人数: 227名

9, 生活支援体制整備事業の受託運営

関係者間の情報共有、既存資源の把握、地域・団体活動支援、普及啓発活動、研修会等への参加

10, 広報啓発活動の強化

- ①ホームページの開設による情報公開
- ②社協広報「社協だより」「社協だより・お知らせ版」発行

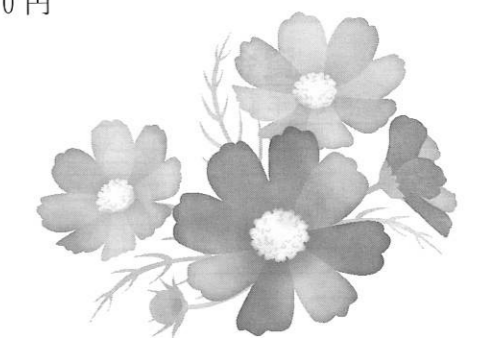
11, 令和元年度賀寿贈呈 賀寿表彰者数6名

12, 令和元年度寄附金及び内訳

ご遺志による寄附金・・・61件 1,770,000円 一般寄付・・・2件 55,000円
※社会福祉基金運営事業へ積立

13, 財政調整基金積立金(介護保険関係) 令和2年3月31日現在 8,117,911円

14, 社会福祉基金積立金 令和2年3月31日現在 23,748,053円



貸借対照表

(令和2年3月31日現在)

貸借対照表 (令和2年3月31日現在) の表。資産の部と負債の部を対比し、純資産の部を算出している。

資金収支計算書

(自)平成31年4月1日(至)令和2年3月31日

資金収支計算書の表。勘定科目と決算額を記載している。

事業活動計算書

(自)平成31年4月1日(至)令和2年3月31日

事業活動計算書の表。勘定科目と決算額を記載している。

住み慣れた家庭で生活環境を変えることなく 安心して暮らせるようにお手伝いさせていただきます。

- ☆訪問介護サービス☆
☆訪問型独自サービス☆
☆訪問入浴サービス(入浴車)☆
☆居宅介護事業所(障害者福祉サービス)☆



募集中! 非常勤介護職員(登録介護員) 募集 募集中!

資格必須

◎本会での介護のお仕事♪私たちとともに利用者様のベストパートナーを目指しませんか?

【募集職種】 非常勤介護職員(登録介護員)

【給与】 時給 サービス内容による 例 生活援助 1時間 1,100円
身体介護 1時間 1,300円

【資格】 介護福祉士または介護初任者研修修了以上
(旧2級ホームヘルパー養成研修修了以上)、普通自動車免許。

【勤務地】 柳津町内

【申込方法】 柳津町社会福祉協議会の備え付け申し込み用紙に必要事項を記入し、資格証明書(写し可)履歴書と合わせて提出してください。

【提出先】 社会福祉法人 柳津町社会福祉協議会(银山荘内)

※履歴書は市販のもので構いません。(写真は6か月以内に撮影した本人の物)

【お問い合わせ先】 TEL:42-3418 担当 杉原

災害義援金募集

令和2年7月豪雨災害義援金

令和2年7月以降日本各地で記録的な大雨となり、河川の氾濫による洪水や土砂災害等が発生し、災害救助法が適用されました。この災害で被災されました方々を支援するため、義援金の受付を行っております。義援金は日本赤十字社福島県支部柳津町区分及び福島県共同募金会柳津町共同募金委員会を通じて、皆様方のあたたかいご支援をよろしく皆様方のあたたかいご支援をよろしくお願いいたします。

@受付場所 柳津町社会福祉協議会

@募金箱設置場所 银山荘

@受付期間 令和2年12月24日(木)まで



返済していただく
必要がありません。
本資金は貸付金であり、

新型コロナウイルス感染症の影響で、休業や失業など、
収入が減少し生活に困っている人へ、
社会福祉協議会が最大で「80万円」を貸し付けます。

緊急小口資金

最大
20万円

(最短3日目に交付) *基本は10万円、特例あり

総合支援資金

月々
20万円

(3か月間交付) *単身者は月々15万円

いずれも **無利子・保証人なし**
償還(返済)は1年後から。なお、償還(返済)時に所得の減少が続く
住民税非課税世帯は返済が免除

【お問い合わせ先】 TEL:42-3418 担当 鈴木・白井

若者の「就活」を支援します

【会津地域若者サポートステーション】

就活において悩みや不安がある方の職業的自立に向けた就労相談窓口です。今年度から対象年齢が**15歳～49歳**に拡大しました。ご来所が難しい場合は、**オンライン相談**も実施しております。ご利用は無料です
のでお気軽にご相談ください。

○主な支援
個別相談・職場体験・各種講座(Excel・Word講座、
ビジネスマナー、履歴書作成支援、面接攻略セミナー
など)

○お問い合わせ先
会津地域若者サポートステーション
住所:ヨークベニマル一箕町店隣接テナント
(月～土曜日/午前9時～午後6時 木曜日/午前9時～
午後7時 閉所日/日曜、祝祭日)

TEL:0242-32-0011

E-mail:info@job-sapo.com

HP:http://www.job-sapo.com/

LINE:@bxo7246m

Twitter:@aizusapost



【あんしんサポート事業】は、
あなたの生活を応援します!

- Q1:どんな方が利用できるの?
A1:認知症や精神障がいなどにより、日常生活上の判断に不安のある方です。
- Q2:どんなことをしてくれるの?
A2:毎日の暮らしの中で困っていることを、社会福祉協議会の専門員と話し合い、どんなサービスが必要か考えます。①福祉サービスの利用援助②日常的な金銭管理サービス③書類等の預かりサービス④その他
- Q3:どうすれば使えるの?
A3:社会福祉協議会の専門員が、どんなことをしたいか、また毎日どんなふうに過ごしたいか、何が困っているか相談にのります。相談は無料です。
- Q4:だれが手伝ってくれるの?お金はかかるの?
A4:社会福祉協議会から委嘱されている「生活支援員」さんが、あなたと約束したことをお手伝いします。このお手伝いには、1回1時間あたり1,200円がかかります(交通費別途)



銀山荘には日帰り入浴のできる温泉があります!

- ◇入湯料・・・大人1回300円、終日510円
小人1回200円、終日300円
- ◇効能・・・切り傷、やけど、神経痛、筋肉痛、
関節痛、冷え症、疲労回復等
- ◇時間・・・午前9時から午後4時30分



日帰り「銀山荘温泉湯治の会」

(場所:銀山荘娛樂室)

皆さんは、温泉と聞いて何を思い浮かべますか「気持ちいい」「健康」「リラックス」などなど、温泉が与えてくれる「良い効果」を思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか?そのような温泉がもつ良い効果をうまく活用しながら日々生活をしていきましょう。

さて、銀山荘は、娛樂室(和室)を利用して休憩しながら、温泉に入り1日のんびり過ごせる施設です。

銀山荘で、日帰り温泉を利用した「現代版湯治」という発想で1日2～3回の入浴が可能です。内分泌器官や自律神経のリズムが狂っている場合は、「温泉・運動・食事・睡眠等」を2～3週間正しいスケジュールで過ごすこと(連続浴効果)により、体調回復が期待できます。

1. 利用者 1組、5名～6名程度のグループで利用してくださる方 1日2組まで
2. 開催日 毎週水曜日 午前9時30分～午後4時(予定変更あり)
3. 一日の過ごし方の例
来館 ～ お茶飲み会 ～ 入浴 ～ 休憩(おしゃべり等)
～レクリエーション「希望により」
(社協職員による、温泉入浴のお話や簡単なゲーム・運動など)
～お昼
持ち込み可能、また出前・弁当手配(自費)対応いたします。
～休憩 ～ 帰宅
4. 利用料 終日利用 小人300円(町内70歳以上含む)・大人510円
5. その他 ふれあい号を利用して来館される場合は、相談に応じて最寄りの停留所等へ送迎出来る場合もあります。

☆お問い合わせは銀山荘(42-3418)までお電話ください。

温泉ひとしメモ

▽安全安心と認知症予防・熱中症予防▽

温泉や温浴施設はコミュニティーの場です。水圧の効果で穏やかに頭の血行が促進されている状態で、会話を楽しむ、脳を活性化させる相乗効果が期待出来ます。一人暮らしの方は日中に、人の目が行き届いた温泉施設で入浴を済ませる、また残暑が厳しい時には、エアコンの効いた部屋で過ごすのも安全安心につながります。

募集中!

ヘルスメイク体操教室のご案内

みんなで楽しく元気に活動してみませんか？
(みんなのふれあいの場)

- ☆対象者☆ 健康意識の高い方（年齢制限なし）
- ☆内 容☆ 健康チェック、楽しく・明るい・新しい音楽で、
頭と体を使った体操等
- ☆場 所☆ 銀山荘ホール
- ☆開催日時☆ 毎週火曜日 午前10時～午前11時45分
- ☆会 費☆ 1回600円

※参加してみたい方は、お気軽に柳津町社会福祉協議会にお問い合わせください。

◇◇◇◇◇ 令和2年度 会員会費納入のお願い ◇◇◇◇◇

【社協会員会費とは】

町民の皆様とともに柳津町の地域福祉を支え合い「だれもが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる福祉のまちづくり」を推進する為に、直接町民の皆様が福祉活動に参加する方法もあれば、会員会費というかたちも参加のひとつの方法だと考えます。

全世帯を対象とした会員制度を通して、町民の皆様が地域福祉への参加促進を図るため会員会費制度です。今年度も、ご理解とご協力ご支援をお願い申し上げます。

皆様から寄せられた会費は、地域に密着した様々な福祉活動に活用させていただきます。

【依頼方法と会費区分】

各地区福祉協力員(各行政区区長)様へ依頼し訪問お伺いいたしますのでよろしくお願い致します。

※個人会員 1口 1,000円 ※特別会員 1口 2,000円 ※賛助会員 1口 10,000円

*柳津町社会福祉協議会（銀山荘）は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を図って行くため引き続き「新しい生活様式」を実践しており、{距離をとる・マスクの着用（状況に応じ）手洗いの感染防止の3つの基本を徹底するとともに、入館前は、アルコール消毒のお願いと、非接触検温にご協力をお願いしております。

「社協だより」や社会福祉協議会に対するご意見やご要望がありましたら、お気軽にお問い合わせください。

発行：社会福祉法人柳津町社会福祉協議会 ☎ 0241-42-3418